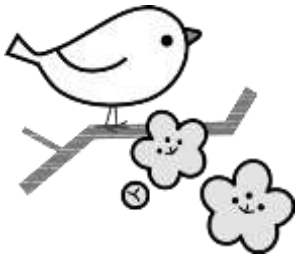
生徒・保護者の皆様へ

練馬区立開進第一中学校　相談室

平成３０年３月２日

相談室だより　第６号

スクールカウンセラー　佐藤（さとう）　淳（じゅん）・心のふれあい相談員　瀬川（せがわ）　佳世（かよ）
直通電話番号：０８０－２０２４－８９００



今年度も残り一ヶ月

３月になりました。いよいよ、卒業・進級シーズンです。在校生は一年、上級生となり、新たな新一年生を迎えることになります。新たに後輩を迎える先輩としての気持ちはどうでしょうか。３年生の先輩方はまだあと一ヶ月います。今のうちに、先輩たちに色々な経験やコツを聞いてみたりできるといいですね。

３年生はそれぞれの進路を迎えることになりますね。新たなスタートは誰にとっても不安が伴うものですがそれと同じくらい、希望もあるものだと思います。開進一中での経験や知識が皆さんの新しい船出の中で、帆となり、オールとなって、新しい旅路の良き助けになることを願っています。

＜メッセージ＞

「友だちはお金ではかえない宝！！！」

瀬川 （火） （木）	３年生はあとわずかで卒業ですね。自分の予想していた中学校生活が送れましたか？私は中２の春休みに引っ越しをして、父の故郷に中３の春から転校しました。（千葉県から群馬県に！）何ごとも新しいことばかりで慣れるのが大変でした。ラッキーなことに友だちには恵まれ、転校生なのに前からいるような雰囲気で一年間をすごしました。今でも同窓会に呼んでくれます。ありがたいことです。友だちは宝ですよ！！！

「すべての終わりは始まりのひとつ」

佐藤 （金）	長く生きていると、色んな形の「卒業」を迎えます。「卒業」してもずっと変わらずに残るものもあれば、残念ながら次第にフェイドアウトしてしまうものもあります。形に残らずともふとした瞬間にそこで得たり、学んだりしたことが繋がっていく瞬間というものが時間を経てから輝きを持つということが人生の中にはあり、そのような大小の出会いと別れと、思わぬ再会を繰り返します。そんなことを裏面に書きました。

■□　スクールカウンセラー・心のふれあい相談員　３月の来校日　□■

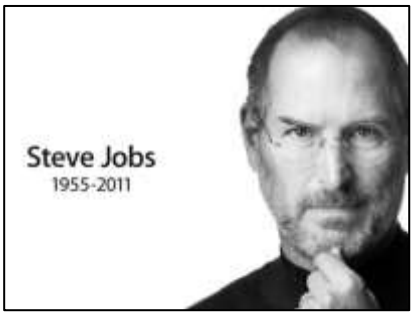
＜３月＞

日	月	火	水	木	金	土
				1 瀬川	2 佐藤	3
4	5	6	7	8 瀬川	9 ◎	10
11	12	13 瀬川	14	15 瀬川	16 瀬川	17
18	19	20	21	22 瀬川	23 瀬川	24
25	26	27	28			

※◎の日はＳＣと相談員が二人とも在室している日となります。

【Connecting Dots】

一年にそう何回もあることではないですが、ときどき、「何のために勉強をするのか」や「生きる意味があるのか」ということを訊かれることがあります。その都度、その人に応じて僕が答える言葉は異なりますがそのことを訊かれる度に思い出すスピーチがあります。一年間の最後なので、今回はそのスピーチのことを三年生のはなむけのためにも紹介させてください。



iPhone や Mac で有名な Apple の創業者にスティーブ・ジョブズという人がいます。コンピューターやスマートフォンに関心が高い人ならば、一度ならず、耳にしたことがある人の名前でしょう。皆さんが使っているパソコンだけでなく、スマートフォンというものを個人に広く広めるための革命を起こした人です。この人は今でこそ成功者として歴史に名前が刻まれていますが同時に大きな挫折を経験した人でもありました。成功と挫折を経験し、そしてそこから復活したスティーブ・ジョブズが２００５年にスタンフォード大学で歴史的なスピーチを披露しました。このスピーチの骨子は３つあるのですが今日はそのなかでもいちばん最初の「Connecting　Dots」というスピーチの一部を紹介します。

ジョブズは生みの親の立っての願いで大学に入学したのですが進学した大学の勉強に興味が持てず、大学を中退してしまいます。大学を中退したジョブズがその代わりに興味を持ったのがカリグラフィというものでした。「カリグラフィ」というのは文字を美しく見せる手法のことで、この勉強が後に MAC を作る際に「フォント」のヒントになったと語っています。

「もし私が退学を決心していなかったら、あのカリグラフの講義に潜り込むことはなかったし、パソコンが現在のようなすばらしいフォントを備えることもなかった。もちろん、当時は先々のために点と点をつなげる意識などありませんでした。しかし、いまふり返ると、将来役立つことを大学でしっかり学んでいたわけです。繰り返しですが、将来をあらかじめ見据えて、点と点をつなぎあわせることなどできません。できるのは、後からつなぎ合わせることだけです。だから、我々はいまやっていることがいずれ人生のどこかでつながって実を結ぶだろうと信じるしかない。運命、カルマ…、何にせよ我々は何かを信じないとやっていけないのです。」

ジョブズは大学中退で挫折体験を味わったわけですがそこで出会ったものが彼の人生を大きく変えることになりました。自分が興味を持って学んだことが後々になって生かされることになったのです。

僕にも似たような経験があります。心理学を学び始めた頃、入学できた大学は残念ながら自分が望んで入った大学ではありませんでした。いわば、ある種の挫折体験です。それでも幸運だったのは自分が興味を持って学びたいと思えるような心理学との出会いでした。そのときはその勉強が何になるのか、全然さっぱりわかっていませんでしたし、これがどんな風に自分の人生に関わってくるかなんて、もっともっとわかりませんでした。それでもそれから色んなことを深めるにつれ、徐々に徐々に自分で望んで入った大学ではなかった大学で学んだ一つのことが今では自分の核となるような一つになっています。不思議なことですね。

皆さんも今、自分が学んでいることが何になるのか、どういうことに繋がるのか、きっと今はまだ見えないし、わからないと思います。僕のささやかな自分の経験として思うのは、今はわからなくても何処かに繋がるんだという気持ち一つあるだけで、その学びはいつか何かに繋がる瞬間があるんではないかなと思っています。

スピーチの全文はとても素晴らしいものです。Youtube ではその時のスピーチが和訳の字幕とともに公開されています。もし興味があれば見てみてくださいね。